

SEIBU

和知
西部地域の
まちづくり通信

和知
第6ブロック
区長会編集

2009年
(平成21年)
10月19日発行

Vol.2

写真◎ 地域の伝統芸能・和知太鼓

その音が心に響き、
そして、その音に癒されるのは、
そこに誇りと愛着を感じているから。

わがまち文化

和知太鼓(発祥の地・藤森神社、広野)

和知太鼓の源流となる広野太鼓の起こりは、お伽草子「酒呑童子」にかかわりがあるとされています。平安時代中期、源頼光(らいこう)が天皇の命を受け、大江山の酒呑童子という鬼の討伐に向かう途中、激しい雷雨に遭い、広野にある藤森神社で雨宿りをしました。いざ出陣のとき、頼光の武運長久を祈願して村人たちが打ち鳴らした奉納太鼓が継承され、今の和知太鼓になりました。和知太鼓には太鼓一張り二人の打ち手がつく「相打ち」と、打ち手が自作自演する「乱れ打ち」があります。その音は、素朴な中にも人の心を鼓舞させる勇壮な響きをもっています



和知太鼓発祥の地・藤森神社(広野)

感想カード

参加者の皆さんの声(抜粋) Impression

■ 回を重ねるごとにワークショップの進め方がスムーズになり、どんどん意見が出て、うまくまとまってきました。特に今回はかなり具体的にできることを考え、ほかのグループの発表を聞き、夢が膨らんできました。西部の活性化に向けて、みんなの知恵が住民パワーや意識改革につながるというなあと感じました。

■ (今日のワークショップでは)西部という大きな力を持った地域が、みんなの総力でいっそうがんばれば、素晴らしいことができるような夢を持たせてくれました。みんなで力を合わせてがんばりましょう。

■ いろんな意見が出て、一つの意見の中から夢が膨らみ、人材があれば、それが本当に実現するのではないかという思いになりました。

■ 具体的な取り組み方について話し合うことができました。少しずつではありますが、自分たちでできているように思えます。

■ 地域に住んでいる者として自分たちに何ができるかを考えることは難しく感じた。しかし、いろんな意見や考え方を聞いたり知ったりする中で、いかに自分が地元を楽しみ、大切にしていけるかが大事だと感じた。集まって話し合うような機会がいろいろな世代であれば良いと思った。地元には良いものが多くあるので、それを大切に、いかに生かしていくのか、多くの意見を聞く中で改めて感じることもできた。

■ 具体的にテーマを決めるのは難しかった。若い人が意外にしっかりした意見や考えを持っておられるのにちょっと驚いた。年齢を重ねるとともに、「どうせ、やってもあかんわ」という考えに傾きがちだが、いくつになっても新しいことにチャレンジする気持ちを持ち続けなければと思った。次回からはますます難しくなると思うが、自分なりに考えをまとめてみたい。

■ 今の現状についてでなく、新たな取り組みについてみんなアイデアを出したが、なかなかテーマが難しかったかも。けれど、今後のワークショップで何か良いアイデアを見つけられることができれば良いと思う。他のグループも楽しそうなアイデアを出されていたので、たくさん集まると良い案が出て、良いなあと感じた。

■ 今回は3回目ということで、テーマを絞っての話し合いでしたが、なかなか難しい内容でした。地域の現状を踏まえたうえで話し合うことはなかなかないので、次回までにいろんなことを考えようと思うことが、地域づくりになると感じます。発表を聞くことで多種多様な意見が聞けて勉強になります。

■ 高齢者にとってはまず、安心・安全な生活を望みますので、そういう活動が広がれば良いと思います。

参加者数

Participant

第3回地域力向上会議 参加者数

男性 10人

女性 13人 計23人でした。

多くのご参加ありがとうございました。

今後の予定

Schedule

開催日	テーマ	備考
第1回 7月24日(金) 出野教育集会所	住民自治組織によるまちづくりとは。	終了
第2回 9月8日(火) 広野公民館	地域の魅力や課題を探そう。	終了
第3回 10月8日(木) オ原生活改善センター	自分たちでできることを考えよう。(仮題)	終了
第4回 11月4日(水) 出野教育集会所	具体的な企画書をつくろう。	
第5回 11月下旬 場所未定	活動実践や課題解決システムを考えよう。(仮題)	

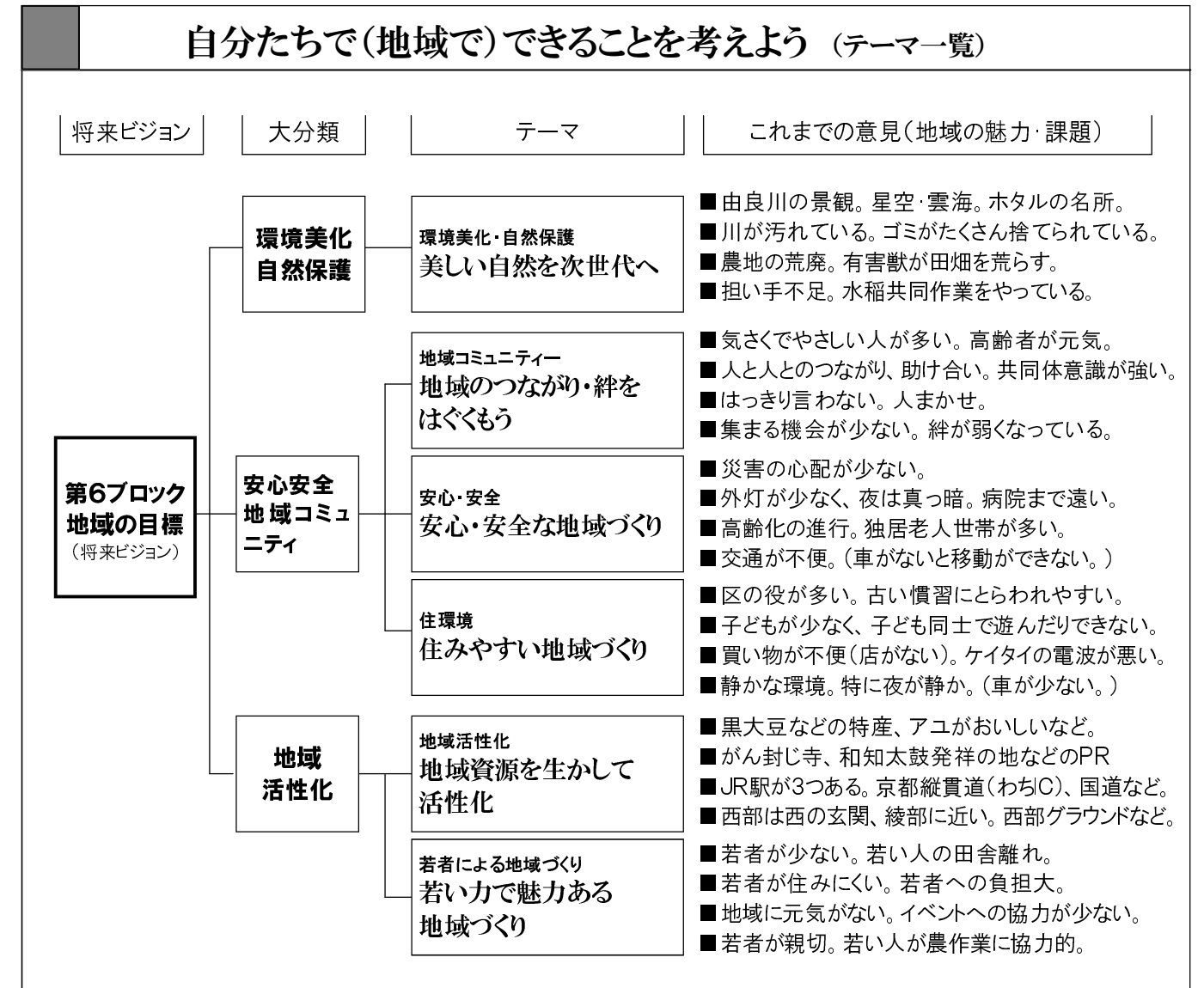
地域力向上会議で、地域の皆さんと一緒に未来を語り合ってみませんか。今後の予定は上の表のとおり。地域の方なら、だれでも参加できます。途中参加も大歓迎です。詳しくは和知支所まちづくり推進担当(電話84-0200)へ。

編集後記

Editor's notes

今回から西部地域のまちづくりの具体的な検討に入った。地域の魅力を生かし、また、課題を解決して住みよい地域をつくっていくために自分たちに何ができるのか、各グループでテーマを決め、アイデアを出し合った。今後の地域づくりについて話し合う皆さんのいきいきとした笑顔や熱意にふれ、西部の未来に夢が膨らむ。

<p>Group マツタケ・グループ</p> <p>テーマ 未設定</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ ホタルや豊かな食など自然を生かした取り組みを考えていければと考えている。 ■ 地域にあるものを生かして、地域コミュニティを高めていくとともに、外から訪れる人も増加させることで、地域を活性化させることが大切だ。 	<p>地域力向上事業 地域で未来を語ろう。</p> <p>第3回 地域力向上会議</p> <p>【テーマ】 自分たちでできることを考えよう</p>
<p>Group ササユリ・グループ</p> <p>テーマ 環境美化・多世代交流</p> <p>活動名 花いっぱい活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 目的/環境美化・多世代交流 ■ 誰が/子どもから高齢者まで (子ども会、婦人会、老人会など) ■ どこで/集会所、駅、グラウンド、わち IC など ■ コンセプト/各集落において子どもから高齢者までが集う場が少ない。まずは各集落でみんなが集うことを考える。 	<p>Group アユ・グループ</p> <p>テーマ 地域コミュニティ</p> <p>西部グラウンドを生かして ※西部大運動会 ※グラウンドゴルフ大会 ※盆踊り大会 (文七踊り)</p> <p>西部交流センターを生かして ※わいわいがやがや地域サロン ※多世代・男性料理教室の開催 ※カラオケ大会 ※和知太鼓</p> <p>駅の活性化</p>
<p>Group クリ・グループ</p> <p>テーマ 安心安全な地域づくり</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 台風などの災害時に備え、ふだんから地域の横のつながりを持つ。(独居老人世帯への声かけ、ネットワークづくりなど) ■ 消火器や消火栓など器具の取り扱い訓練など消防団と一緒に取り組む機会を持つことが大切。 ■ できることからやり始めることが大切。 	<p>Group ウグイス・グループ</p> <p>テーマ 若い力で魅力ある地域づくり</p> <p>主な意見</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ 若者だけの集まりや交流が少ない。 ■ 地元の若者でイベントを企画して実行してはどうか。まずは地元の若者が楽しめるものであることが大事。 ■ 地域を外へPRし、若い人が住みたくくなるような地域にしていく必要がある。 ■ 若い力で祭りとか運動会とか復活させる。 ■ 特産を生かして新しい地域産業を起こす。



第6ブロックの地域力向上会議も中盤を迎えました。第3回ワークショップ10月8日(木)、才原生活改善センターで開き、23人が参加。今回はグループごとにテーマを設定し、今後の地域づくりに必要な活動のアイデアを出し合いました。

和知地区第6ブロック
地域力向上会議
Workshop 詳細

地域づくりの アイデア出し合う。

参加者は五つのグループに分かれ、住みよい地域づくりのために、自分たちで取り組めそうな活動についてアイデアを出し合いました。上の表は、これまで話し合ってきた地域の魅力・課題を分類し、六つのテーマを設定したもの。各グループは上の「テーマ一覧」を参考に、これまで出た意見などを踏まえてテーマを設定し、魅力を生かした取り組みや課題解決策に知恵を絞りました。各グループでの話し合いの内容は左のとおり。



西部地域の今後の地域づくりについてアイデアを出し合う参加者の皆さん。(才原生活改善センター)